

福井工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	保健体育Ⅰ (剣道) (F2)	
科目基礎情報							
科目番号		0007		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		実技		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		1年混合学級 (一般教育科目)		対象学年		1	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		ステップアップ・高校スポーツ2023 (大修館書店)					
担当教員		瀧口 正之,東 章弘,松井 一洋,青木 宏樹					
到達目標							
(1) 剣道の特性を通じて礼節ある学生となる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1		欠席、遅刻、早退、見学がほとんどなく、忘れ物もなく、安全かつ主体的に授業に取り組むことができる。		欠席、遅刻、早退、見学が少なく、忘れ物も少なく、安全かつ積極的に授業に取り組むことができる。		欠席、遅刻、早退、見学が多く、または忘れ物が多い。もしくは、安全かつ積極的に授業に取り組むことができない。	
評価項目2		効率的技術を有している、または効果的プレーができるほか、自己やチームの課題に対して適切な取り組みや工夫ができる。		基本技術が身についている、または基本的なプレーができるほか、自己やチームの課題に対して適切な取り組みができる。		基本技術が身についていない、または基本的なプレーができない。もしくは、自己やチームの課題に対して適切な取り組みができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 RE3							
教育方法等							
概要		日本古来の伝統スポーツ文化である「剣道」の講義・実技の授業を通して、剣道での動き (技術) および礼儀作法 (精神) などを教授する。					
授業の進め方・方法		講義による授業も実施するが、主に実技を実施しながら学習を深めていく。					
注意点		実技実施においては毎回安全に最大の注意を払うこととする。					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 講義による剣道授業への導入		剣道授業の取り組み方について理解し、安全管理や必要な用具の準備ができる。		
		2週	実技 剣道具および基本姿勢・基本動作について		剣道具の正しい取り扱いについて理解し、基本姿勢・基本動作ができる。		
		3週	実技 構えと足さばきについて		構えと足さばきについて理解し、適切な動きができる。		
		4週	実技 打突の基本とその受け方①		打突とその受け方について理解し、適切な動きができる。		
		5週	実技 打突の基本とその受け方②		打突とその受け方について理解し、適切な動きができる。		
		6週	実技 打ち込み稽古①		打ち込みについて理解し、適切な動きができる。		
		7週	実技 打ち込み稽古②		打ち込みについて理解し、適切な動きができる。		
		8週	中間試験 筆記試験				
	2ndQ	9週	実技 約束練習①		約束練習について理解し、適切な練習ができる。		
		10週	実技 約束練習②		約束練習について理解し、適切な練習ができる。		
		11週	実技 切り返しと打ち込み①		切り返しと打ち込みについて理解し、適切な動きができる。		
		12週	実技 切り返しと打ち込み②		切り返しと打ち込みについて理解し、適切な動きができる。		
		13週	実技 総合練習		これまで学習した技術を使って、試合形式の練習ができる。		
		14週	実技 総合練習		これまで学習した技術を使って、試合形式の練習ができる。		
		15週	実技テスト				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる (相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。		3	前9,前10
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。		3	前6,前7,前9,前10,前11,前12

	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	前9,前10
				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	3	前2,前3
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	前1,前8
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	前9,前10
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	前8,前13,前14,前15
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	前4,前5
評価割合						
		筆記試験	実技試験	取り組み	合計	
総合評価割合		40	40	20	100	
横断的能力		40	40	20	100	